

# 第73回車座集会（多摩区）結果概要

1 開催概要      日時 令和7年2月9日（日） 10:00～12:00  
場所 多摩区保育・子育て総合支援センター

## （1）テーマ等

### 地域でみまもる子育てしやすいまちづくり

子育て中の方や地域で活動する団体等と市長が意見交換を行いました。

- ◆事例発表①（支援を受けた人）
- ◆事例発表②（支援した人）
- ◆多摩区保育子育て総合支援センターの役割・活用
- ◆意見交換①  
「孤立感から生まれる子育ての負担感等の共有」
- ◆意見交換②  
「負担感等を解消するための保育・子育て総合支援センターをはじめとする区内の資源を活用した取組、仕組みづくり」

## （2）参加者、傍聴者

計29名（参加者23名、傍聴者6名）

## 2 アンケート結果

2ページ以降参照

## 3 意見交換の概要等

7ページ以降参照

# 第73回車座集会（多摩区）アンケート集計結果

## ● 今回の実施内容について

回答率：100%  
参加者 23/23人

### 問1 意見交換の時間について

参加者

ちょうどよい	短い	長い (やや長い)
16	1	6

・子どもと一緒にだと少し長い。(ちょうどよいと回答した方)

参考：傍聴者

ちょうどよい	短い	長い
6	0	0

### 問2 会の進め方について

参加者

よい	よくない	どちらともいえない
21	1	1

(よくないと回答した理由)

・子育て世帯の意見より、地域民間の方々が長く話されていて、  
パパママはもっと意見を出したかったと思います。

参考：傍聴者

よい	よくない	どちらともいえない
6	0	0

### 問3 全体の感想について

#### 参加者

有意義であった	有意義ではなかった	どちらともいえない
22	0	1

(有意義であったと回答した理由)

- ・ 様々な意見や支援を知ることができた。  
時間的にこれ以上長くなるのは無理だが、さらにもう一巡、意見を聞いてみたかったです。
- ・ 様々な立場の人の意見を聞いた。

(どちらともいえない回答した理由)

- ・ テーマがはっきりしていない。子育て世帯へは“孤立”だけしか聞いていない。

#### 参考：傍聴者

有意義であった	有意義ではなかった	どちらともいえない
6	0	0

- ・ 地域での子育て支援が見える会だった。

**問4 本日の車座集會に参加してみて、皆様自身の新たな気づきや取り組みたいアイデア、参加してみたいことなど（1／2）**

- 参加者
- ✓まずは今日知った地域の活動に触れてみたいと思います。
  - ✓今日知ることのできた子育て支援の場について知人と共有したい。
  - ✓子育て支援の活動を多くのパパママに伝えていきたいと思いました。
  - ✓他の方々との横のつながりをもっとつくりたいです。
  - ✓とても有意義な会でした。私も知らない活動もあったので今後の参考にしたいと思いました。
  - ✓川崎アプリを活用しようと思いました。ワーママとの交流サロンなどもあれば参加したいです。
  - ✓地域民間の方も参加されたのはよかったです。
  - ✓必要とするもの（あったらいいな）が見えてきた。地域の間人としての声かけが大切。自分自身の勇気を持つことが大事だと思います。
  - ✓他団体の方とのコラボをもっとやっていきたい。
  - ✓より参加しやすい形を目指します。
  - ✓持ち帰りさせていただいて、もっと役立てるように取り組んでまいります。

#### 問4 本日の車座集會に参加してみて、自身の新たな気づきや取り組みたいアイデア、参加してみたいことなど(2/2)

- 参加者
- ✓大学と地域資源をどのようにつなげるか、また、つながれるような機会を作っただけの大学と地域作りをしていけたらいいと思います。
  - ✓大学生がサークル活動で、「子ども会」をやっている大学がありました。近年、自治会に参加しない人も増えているので、こういった別の団体からのアプローチで地域のつながりが増えていくといいなと思いました。

- 参考：傍聴者
- ✓子育て中の母として、支援に携わる者として、共感する話が多く、とても有意義な時間でした。支えて、支えられる関係性やつながりが多摩区でほしいと思います。
  - ✓民間企業の方からの広報面での協力がありがたく感じました。生活でいっぱいママさんパパさんに対して、生活の中で情報を得られると良いと思いました。
  - ✓子育てアプリの拡大、数多くのネットワークがあると皆安心できる。
  - ✓子育て世帯について参考になった。

## 問5 車座集会で取り上げてほしいテーマや御意見など

### 参加者

- ✓ 中高生の不登校やうつ
- ✓ 中高生の発言の場をつくってみたい
- ✓ 社会参加とは？
- ✓ 保育所不足、働くママ支援

### 参考：傍聴者

- ✓ 大学生や新社会人に向けた、今後の子育てイメージを伝える等。テーマは「子育てのイメージとは」

振り返り市長レク

# 第73回車座集会 (多摩区)

地域で見守る  
子育てしやすいまちづくり



COLORS,  
FUTURE!  
ACTIONS  
KAWASAKI 100th



1

孤立感から生まれる  
負担感等の共有

2

地域で見守る子育て  
支援に係る取組の方向性

3

今後の進め方

令和7年3月12日

# 1 孤立感から生まれる負担感等の共有

## 知り合いがいない

- 多摩区に引っ越してきた。市内に友達はいない。気軽に会えない。孤立感を感じる時はあった。  
→こんにちは赤ちゃん訪問の木澤さんと挨拶、幼稚園のママ友が少しずつ増え孤立感から解放された。
- 住んで10年弱になるが友人はなく、出産当初はママ友もいなかった。  
→新生児訪問で紹介された絵本の貸出を活用している。図書館より新生児向けの本があり、状態もきれいなので借りたい気持ちになる。  
職員が子どもの成長に合わせて助言や気にかけてくれ、とても楽しい。愚痴もはける。

## 同じ境遇の人がいない

- 結婚を機に引っ越し。友人がいない。  
→新生児訪問でこのとりの会（子育てグループ）をお勧めされたことがきっかけのひとつ。紹介された多摩ファミリークリニックの新米ママカフェに参加。同じ境遇の人と話す機会、悩みを共有できるママさんに会えたことがきっかけ

## 相談できる人がいない

- 3～4カ月の時、ミルクを3時間置きに与えることがストレスとなった。相談できる人がいなかった。  
→地域子育て支援センターで毎回会うお母さんたちと話をできる環境ができた。
- ずっと仕事をしている。それが当たり前の環境であった。出産して体調を崩し、眠れない時期があった。朝から育児が始まる。変わらないルーチンに恐怖を感じた。  
→何かあったら母親に頼るのが実情。市の保健師と繋がっていたので、催しものを知ったり、市外でも定期健診を受けられるよう計らってもらい、身体的な負担は減ったが、孤立感は継続している。

## 支援センターがたくさんあること、何をしているところか知らなかった。

- 支援センターがどこにあって何をしているのか、わからなかった。  
→母子手帳をもらった時に知ることができた。このような場所に行けば仲間できるとわかった。

## パパ友同士のつながりがない

- お父さん同士のつながりがない。  
→育休を取得しているお父さんと繋がれば、悩みを共有できる機会が多かったと思う。

## 市の催しは平日昼間に実施され参加が困難

- 市の催しは平日の昼間に実施している。仕事復帰後の催しへの参加は不可能。仕事を休んで参加しているのが実情  
→何かあったら母親に頼るのが実情。市の保健師と繋がっていたので、催しものを教えてもらい、市外でも定期健診を受けられるよう計らってもらい、身体的な負担は減ったが、孤立感は継続している。（再掲）

## 2 地域で見守る子育て支援にかかる取組の方向性

### 01 保育・子育て総合支援センターによるアウトリーチ

#### 子育て支援者の裾野を広げる

- 子育て支援機関だけの関わりではなく、区内郵便局、商店等と連携した情報発信（チラシの配架、ポスターの掲示等）に取り組む
- 多摩ファミリークリニックをはじめとする関係団体（医師会等）と連携した保護者に合った子育て支援メニューの紹介



#### パパ友同士の交流

- お父さん同士のつながりを作るため、父親の参加事業・意見交換会・父親向けの子育て講座の実施

### 02 地ヶ算（地域のつながりづくり）による子育て支援の拡充

#### 地域資源同士の連携の模索

- まちの縁側、こども食堂、プログラミング教室等をはじめとする様々な取組と団体や人をかけ合わせ、子育て支援の取組の拡充



### 03 デジタルを活用した情報発信

#### かわさき子育てアプリを活用した効果的な情報発信の模索

- R8.1月リニューアル。講座等の予約、妊娠届、出生連絡票、健診等の手続きをすべてアプリで。電子母子健康手帳機能を搭載。子育てアプリを活用した効果的な子育て支援情報の発信の模索



### ③ 今後の進め方

#### STEP 01 (令和6、7年度)

#### 子育て支援者の裾野を広げる 等

- 区内郵便局、商店等と連携した情報発信（チラシの配架、ポスターの掲示）
- 関係団体（医師会等）と連携した保護者に合った子育て支援メニューの紹介
- かわさき子育てアプリを活用した効果的な情報発信の模索



#### STEP 02 (令和7年度上半期)

#### 地域で見守る子育てしやすいまちづくり 地域デザイン会議（孤立を生まない取組の加速）

- 好事例の横展開
  - ・ ノウハウの共有と標準化  
好事例から得られた知識やスキルを共有し、標準化を図る。
  - ・ 新たなアイデア等の考案  
好事例を参考に、新たなアイデアや改善策を生み出す。
- 支援を受けた方、子育て世帯を支える方

